

転移性肺腫瘍に対する再肺切除に関する研究

1. 研究の対象

2000 年 1 月～2020 年 12 月に転移性肺腫瘍に対して 2 回以上の肺の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

様々ながんや悪性腫瘍からの転移性肺腫瘍に対する治療として肺切除術が施行されます。転移性肺腫瘍に対して肺切除を受けた後、再度肺転移再発が出てきて再肺切除を行うこともあります。しかし、再肺切除に関しては、どのようながんや腫瘍からの肺転移に対して、どのような時期に、どのような手術を行うべきであるかなどの問題についての結論は出されていません。そこで大阪国際がんセンターでは、転移性肺腫瘍に対して 2 回以上肺切除術を受けた患者さんの患者基本情報、原疾患、治療内容、再発の有無および生存を調査します。転移性肺腫瘍の患者さんにおける再肺切除の治療効果や予後因子について検討するのが本研究の目的です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院において 2000 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの間に転移性肺腫瘍に対して 2 回以上の肺切除術を受けた患者さんの入院および外来カルテから、患者基本情報（年齢、性別）、原疾患（がんや腫瘍の種類、病期、治療内容など）、肺転移の詳細（大きさ、個数など）手術内容（切除個数、切除方法、合併症、併用療法など）、再発の有無、発見日および予後（生存）情報などを調査します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：神崎 隆

大阪国際がんセンター 呼吸器外科

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181